

北海道告示第11515号

漁業法(昭和24年法律第267号)第58条において読み替えて準用する同法第42条第1項の規定により、北海道漁業調整規則(令和2年北海道規則第94号)第5条第1項第19号に掲げるえびかご漁業(日高振興局管内沖合海域)について、その許可又は起業の認可をすべき船舶等の数及び船舶の総トン数その他の制限措置並びに許可又は起業の認可を申請すべき期間を次のように定めた。

令和4年12月15日

北海道知事 鈴木直道

制限措置						許可又は起業認可を申請すべき期間	備考	
(1)漁業種類	(2)操業区域		(3)漁業時期	(4)許可又は起業の認可をすべき船舶等の数	(5)船舶の総トン数			(6)漁業を営む者の資格
えびかご漁業	日高振興局管内沖合海域	次の線を順次結んだ線以東、幌泉・広尾両郡の境界線と最大高潮時海岸線の交点から106度30分の線以西の日高振興局管内沖合海域。 ただし、たこ漁業の共同漁業権漁場区域を除く。 ア 勇払・沙流両郡の境界線と最大高潮時海岸線の交点と勇払・沙流両郡の境界線と最大高潮時海岸線の交点から206度55分27,000メートルの点を結んだ線 イ 勇払・沙流両郡の境界線と最大高潮時海岸線の交点から206度55分27,000メートルの点から正南の線	毎年、3月1日から10月31日まで	48隻	20トン未満	日高振興局管内に住所を有する者	令和4年12月19日から令和5年1月18日まで	<p>1. 許可の有効期間は、令和5年3月1日から令和8年2月28日までとする。</p> <p>2. 起業の認可の有効期間は、令和5年3月1日から令和6年2月29日までとする。 なお、北海道漁業調整規則第8条の規定による当該起業の認可に基づく許可の有効期間は、許可の日から1に掲げる許可の有効期間の満了の日までとする。</p> <p>3. 申請書の提出先は、日高振興局産業振興部水産課とする。</p> <p>4. 許可に当たっては、次に掲げる内容の条件を付けることがある。 (1) 暴風雨、漁船の損傷、その他やむを得ない場合を除き〇〇港以外に漁獲物を陸揚げし、又は他の船舶に転載してはならない。 やむを得ない事由により、〇〇港以外に漁獲物を陸揚げし、又は他の船舶に転載する場合は、その都度、日高振興局長に報告しなければならない。 (2) 海中に敷設するかご数は、800個以内でなければならない。 なお、たこかご漁業(やなぎだこ)を同時に営む者にあつては、たこかご漁業(やなぎだこ)に使用するかごと兼用しなければならない。 (3) 使用するかごの網目は、10節(結節から結節までの長さ17ミリメートル)以上の大きさでなければならない。 (4) 海中に敷設する漁具の各のしのはの両端には、漁船名及び許可番号を記載した標識を付けなければならない。 (5) 次に掲げるかに、つぶ類及びみずだこが採捕されたときは、できる限り損傷しないよう速やかに海中に戻さなければならない。 ア 甲長8センチメートル以上のけがにの雄がに イ 甲幅8センチメートル以上のはなさがにの雄がに ウ たらばがに エ あぶらがに オ ずわいがに カ べにずわいがに (6) 7月11日から9月20日までの間、なまこが採捕されたときは、できる限り損傷しないよう速やかに海中に戻さなければならない。 (7) 知事が漁業調整上、操業に関し必要な事項を命じたときは、これに従わなければならない。</p>